

令和4年10月31日

先日、何かの記事を読んでいたら、ダジャレが1つ出てきて、それが「ジンジャーエールないの？ しょうがないなあ」というものだったんですが、これがすごく高いレベルのダジャレに思えまして、衝撃を受けるというか、引っ掛かりました。

というのも、私が学生時代、4年間同じ飲食店でアルバイトをしていたのですが、ここでは笑いを取ろうとダジャレを連発していたんですね。その内容が、「レモンの入れもんどこ？」とか「納豆はどうなっとう？」とか「トイレから早よ出といれな」みたいな、今から思えば恥ずかしい、低レベルなダジャレだったので、その「ジンジャーエールないの？ しょうがないなあ」というダジャレが高いレベルに感じた、ということです。

そもそもダジャレを何故言っていたかということですが、おっさん気質というものもあるんでしょうけど、大阪人氣質というのもあったんだと思います。少しでも笑いを取りたい、またその場所が東京となれば余計です。そういえば東京で営業マンをしていた時は、「営業はしゃべってなんぼや！」と息巻いてましたが、今から考えるとそれは間違っていて、「営業はしゃべってもらってなんぼや！」つまりお客様にいかにいっぱい話してもらうかが営業の極意であることにどこかの段階で気付きました。まあそれはそれとして、営業として笑いを入れた大阪人氣質に助けられたところが大きいありました。

そんな大阪人氣質、言ってみれば大阪という地域がそれを醸成していることを思えば、大阪への感謝の気持ちが湧いてくるのですが、それに報いるということもあって、実は本日付けで大阪府の環境事業資金につき、当社も投資することとなりました。これはグリーンボンドと言って、用途としては、服部緑地や大泉緑地といった緑地の整備、大阪モノレールの延伸、なにわ筋線の開通整備等に利用するものです。つまり、大阪府が進める環境事業に当社が間接的に関わるということで、SDG'sに当社が初めてタッチすることとなります。ちなみにSDG'sの17項目のうち、9番と11番と13番に該当してきます。また、「環境に優しく豊かな生活を実現しよう」という当社の基本方針にも一致します。

大阪の環境事業に貢献しているという「誇り」を主業員全員で共有できればと思います。

以上